

# 議会だより

ひだか

第182号

令和7年7月25日



志賀保育所 水あそび

通学道路の拡幅へ	補正予算	2～3
生理用品を学校トイレに	一般質問	4
防災備蓄倉庫を視察	委員会レポート	5～6

## 6月定例会

令和7年第2回定例会は6月10日から18日までの9日間の会期で開催した。  
今定例会では、令和7年度補正予算・条例など議案10件、報告6件が提案され、慎重審議の結果、原案の通り可決した。

### 令和7年度一般会計補正予算

既定の予算額に6,445万4千円を追加し、総額60億677万9千円とする。

— 主な増額の内容（歳出） —

- ・ 低所得支援及び定額減税補足給付金で3,065万4千円
- ・ 町道改良事業費（町道平野線測量設計委託料）で600万円
- ・ 地域観光魅力向上事業委託料で700万円

#### 町道改良事業費

**問** 町道平野線測量設計について、平野線の位置、延長など計画の詳細説明を。

**産業建設課長** 平野線は、日高中学校のすぐ西側の町道で、通学路として利用している町道である。

事業の延長は、約600メートルで、工期は令和8年度からの5年間を予定している。



町道平野線

#### 小規模土地改良事業費

**問** 獣害防護柵設置。これは、現在行われているほ場整備と関係する場所なのか。

**産業建設課長** 場所は現在、県営ほ場整備事業を実施している、久志地内である。

利用集積や担い手への集積など、獣害があ

ると進めにくいいため、庵之芝地区全体を囲むことになっている。



獣害防護柵を設置（久志地内）

#### 低所得支援及び定額減税補足給付金

**問** 昨年度の定額減税の関係だと思うが、内容説明を。

**住民生活課長** 今回の給付には2種類がある。

ひとつは、令和6年度の給付について、令和6年分推計所得税額を用いて算定したことで、本来給付すべき額と当初の給付額との間で差額が生じた人に対して支給するもの。

もう一つは、本人及び扶養親族等として定額減税対象外であり、低所得世帯向け給付にも該当しなかった人に対して、1人当たり原則として4万円を支給する。

### 地域観光魅力向上事業委託料

問 詳細説明を。

**企画まちづくり課長** この事業は、将来にわたって持続的に地域誘客の促進がされるよう、地域資源を活用し観光コンテンツの開発など、ビジネスモデルづくりを支援していくもの。テレビ番組やチラシ、SNS等で、日高町の情報発信を行うなど、これまで以上に、新たな広がりにも活用したいと考えている。



熊野古道

アサギマダラ



温泉館 みちしおの湯

日高町の魅力をアピールするための  
ツアーパッケージを販売する

## ◆◆◆◆◆ 条例改正 ◆◆◆◆◆

### 日高町国民健康保険税条例

賦課限度額の引き上げ、法定軽減世帯の拡大、医療分税率・額を引き上げるもの

一人当たりの税額が、76,132円から84,392円、10.85%の引き上げとなる。

		6年度	7年度
医療分税率	所得割	5.60%	6.10%
	均等割	22,700円	25,700円
	平等割	17,700円	20,000円
医療分限度額		65万円	66万円
後期分限度額		24万円	26万円
一人当たり税額		76,132円	84,392円



## 工事請負契約の締結

### 田杭漁港D防波堤設置工事

落札業者：株式会社 中村建設  
金額：1億5,994万円  
工期：令和8年3月27日  
落札率：89.69%



工事中の田杭漁港

## 財産の取得

### 消防ポンプ車

落札業者：株式会社 北垣  
金額：2,315万6,300円  
納期：令和8年3月31日  
落札率：98.76%

### 小型消防ポンプ付普通積載車

落札業者：イリエオートサービス  
金額：1,387万円  
納期：令和8年3月31日  
落札率：97.22%



にしおか かなこ  
西岡 佳奈子 議員

## 生理用品を学校トイレに 教育長 中学校トイレに配置の方向で



日高中学校女子トイレ

**西岡** 内閣府は、2021年から自治体での生理用品の無償配布の取り組みを調べている。同時期に厚労省が「『生理の貧困』が女性の心身の健康等に及ぼす影響に関する調査」を実施。『生理の貧困』が女性の健康や尊厳に関わる重要な課題となっているとの認識が示されている。

調査の中で、必要な女性への無償配布とともに、学校や公共施設のトイレに生理用品を設置している状況も明らかになっている。

今年2月発表の調査では、全国925の地方公共団体、和歌山県内9つの自治体が生理用品の無償配布などに取組んでいる。

学校や公共施設のトイレに生理用品の配置を求める。併せて、生理用品の購入が負担になるなど、必要とする人に無償で配布する仕組みづくりを求める。

**教育長** 町内各小・中学校では、生理用品は保健室に常備しており、必要な児童・生徒に無償提供している。今後、中学校においては生理用品をトイレに配置する方向で調整していきたい。

**町長** 現在、災害用の備蓄物資として生理用品を備蓄しているが、公共施設内への配置は行っておらず、無償配布も実施していない。

しかし、身体的・精神的な健康状態についても指摘されているので、今後、調査・研究をしていきたい。

## 農業用機械購入補助の要件緩和を

**西岡** 農業用機械の購入に対して助成制度が設けられているが、経営面積の拡大が要件となっている。農家からは、「今の農地を守ってだけでも大変で、面積の拡大は無理」という声を聞く。経営面積の拡大要件の廃止や緩和を求める。耕作放棄地を増やさない取り組みの一助となると考えるが、どうか。

**町長** 国の政策は、担い手への集積を進め、規模拡大を促進するものとなっている。

当町でも規模拡大し、意欲ある農家への支援を行っている。

面積要件の廃止や緩和は、農地の利用集積や優良農地の保全、耕作放棄地発生防止などの目的から外れるため、見直しは考えていない。

## — 他の一般質問 —

消費税減税を国に求めて

# 委員会レポート

## 総務福祉常任委員会

### 防災体制をより実効性のあるものに 印南町・みなべ町を視察

防災備蓄倉庫について視察を行い、はじめに印南町の防災福祉センターを訪れ、備蓄倉庫の状況やドローンの活用について説明を受けた。備蓄については、町内8か所に分散して物資を備蓄しており、地域の実情に合わせた体制が整えられていた。



防災福祉センターの備蓄倉庫  
(印南町)

また、役場庁舎から沿岸部を見下ろせる立地を活かしたカメラの映像や、ドローンを実際に飛行して頂き、上空からの映像も確認した。災害時における状況把握の手段として、ドローンの有効性を実感することができた。



ドローンからの映像を確認  
(印南町)

次にみなべ町の防災備蓄倉庫を視察した。みなべ町では、防災備蓄倉庫・子ども園・防災広場が海拔22mの高台に整備され、防災拠点として一体的に機能する構造になっていた。災害時に取りざたされているトイレ問題

からトイレトラックも導入されており、高額ではあるが非常に魅力を感じた。



トイレトラック (みなべ町)



防災備蓄倉庫 (みなべ町)

今回の視察を通じて、備蓄の量や内容だけでなく、備蓄の配置の仕方、災害時の運用体制、さらには平常時の訓練や設備の整備の重要性を強く感じた。また、ドローンのような新しい技術を活用することで、災害対応の迅速化・効率化につながる可能性があることも確認できた。

日高町においても分散備蓄の体制や、地域ごとに必要な備蓄内容の見直しや検証が必要である。また、防災拠点としての機能を果たせるよう公民館や学校など既存施設の整備、強化も検討するべきである。さらに災害時の情報収集、指揮系統の確立に向けたICT機器の導入やドローンの活用も今後の選択肢のひとつとして、議論すべきである。

これらの先進事例を参考に日高町の防災体制をより実効性のあるものにしていくことが求められる。

# 委員会レポート

## 産業教育常任委員会

### 防波堤設置工事の事業費

委員会は、当初計画から大幅に事業費が増加した「田杭漁港防波堤設置工事」について、調査・研究を行った。

事業に取り組むに至った経緯は、高波による防波堤の損傷や、砂の流入により船の航行に支障をきたしていることによるもので、堆積した砂の対策として数年に一度、しゅんせつ工事を実施しており、令和3年度には堤防の修繕費も含めて約4千万円が必要となった。

既存の防波堤の老朽化に伴い、それらの頻度と経費は増加すると推定されることから、港内の静穏度を確保するための防波堤の設置について、田杭区と比井崎漁協から早急な対応を求められた。

当初の総事業費は3億円であったが、測量



工事中の田杭漁港防波堤

設計の結果、静穏度を確保するためには設置位置と規模の変更を行う必要が生じ、令和5年度に総事業費が8億5千万円に増額となった。

また、令和6年度末の単価で試算すると、物価高騰の影響で総事業費が13億円になることが想定される。などの説明を受けた。

委員会は町長にも出席を求め、事業の必要性や事業費の変動などについて、町長の考えを聞いたところ、『事業の実施は必要であるが、事業費の増加については、町財政への影響が少なくなるよう検討する。』とのことであった。

委員からは、今後の進捗への質問や、事業費の増加について懸念する意見が多くあった。

委員会としては、更なる事業費の増加を回避し、また事業費を抑える方策が無いのか、今後も検討を続けることを求めた。

### 議員の辞職

5月15日付けで芝充彦議員が辞職。

### 委員会構成の変更

#### 議会運営委員会

辻村委員を補充し、委員長に。

#### 総務福祉常任委員会

井垣委員を補充し、副委員長に宮本委員。

### 編集後記

備蓄米関連のニュースが連日賑わっている。価格は5キロ2千円位で、今の市場価格からすれば大変安く、飛ぶように売れているとのこと。当時の農協から農家への概算金は60キロ1万3千円程度で5キロに換算するとわずか約千円であり安すぎる。

流通と価格のからくりは分からないが今も異常な高値で販売されている。

農家は機械・肥料等の高騰で概算金は高いほど助かるが、今年は昨年から少し上がり2万円程度と聞いている。業者が適切な利益で商売すれば市場価格は落ち着くはずであるが。

あれほど無いと言っていた米が以前以上に店頭に並んでいる現状。何かがおかしい、米大臣原因究明を？

清水 正巳